

(株)フクナガエンジニアリングがお送りする環境ビジネス情報誌

F E C NEWS

[フェコニュース]
2010.WINTER vol.36



水のある風景 vol.4 琵琶湖と雪

琵琶湖では、「早崎ビオトープ」という日本最大のビオトープ実験地があります。かつてここは内湖を埋め立てて干拓田にしていたのですが、現在では豊かな自然を取り戻すため、ビオトープ（生物が住みやすい自然環境）となりました。おかげで毎年多くのコハクチョウが飛来するようになったそう。自然によって生かされている私たちが、しっかり自然を守れるようになりたいものですね。

フクナガの商品・サービスにおけるエコな部分を掘り起こします。
もっと!フクナガのECO発掘!



特集

Re. ボランティア推進中!
プルタブ&アルミ缶を集めて車イスに

プルタブ&アルミ缶が
 車イスになるシステムとは?

全国的に広がりがつつある「プルタブ・アルミ缶を集めて車イスを贈る」というすばらしい活動。フクナガでも金属リサイクルのノウハウを活かし、一般社団法人を立ち上げて、この事務局を担っています。この活動がスタートしたきっかけは、昔は取り外し式だったプルタブで怪我をする子供がいたり、動物が誤飲したりという例が多くあり、「落ちたプルタブを野放しにさせないよう、福祉利用に役立てよう」という試みからでした。

プルタブ&アルミ缶は、重量を計算して、変動する金属相場レートをもとにポイントに交換。累積ポイントが目標準値に到達すると、車イスと交換できるシステムになっています。

こうして集められたプルタブ&アルミ缶は、アルミ資源として精錬メーカーでリサイクルされます。



缶は潰しておけば、たくさん送れます

毎日、全国からプルタブ&アルミ缶がたくさん送られてきます。

いざ必要となったときに
 近くにあれば...



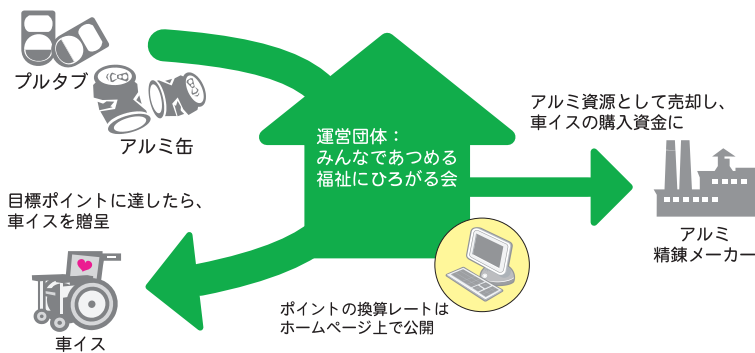
介護施設だけでなく、市や区の社会福祉協議会でも需要は高い

広げたい!金属リサイクルと福祉がリンクしたこの活動

学校・自治体・企業など現在は120団体に参加し、今までに7台の車イスが贈られました。この活動を運営する事務局スタッフの古川は「車イスをお贈りした社会福祉協議会では、貸し出し用の車イスが常に予約待ち状態なんです。病院や介護施設だけでなく、社会全体で車イスが必要とされていることを知り、驚きました」と語ります。常に必要な人から、一時的に必要な人まで車イスの需要は意外と多い……。だからこそ、限りある金属資源をリサイクルする事業と、福祉がリンクしたこの活動を今後も続け、一層広げていきたい、と考えています。事務局では公明正大・法令順守を原則に掲げ、ある企業とのコラボも計画中です。

老若男女始められるボランティアです。捨てるなら、いっそのこと集めてみませんか?

プルタブ&アルミ缶が車イスになるまで



この福祉活動に参加する「大興業株式会社」。パチンコ店でプルタブ&アルミ缶を収集

オフィスでできるエコ情報をお届けします **オフィスでお役立ちエコ情報**



冷えを撃退!
USBグッズでポカポカ

冬のオフィスではウオームビズも定着しつつありますが、女性は特に寒い思いをされていることでしょうか。だからといってエアコンの温度を上げすぎるのも。そんな時に役立つのがUSBグッズです。電力パワーが少ないパソコンのUSBポートに繋ぐだけで、手軽にポカポカが得られる商品が充実。USBあつたかクッションやひざかけなどを使うことで、冬の電力をできるだけ抑えて、「エコ」にこの寒い冬を乗り切りましょう!



USBにつなぐだけで、暖かくなるクッション。サンワサプライ株式会社
<http://www.sanwa.co.jp/>

必要な場所に必要だけ、コレこそ本当のウオームビズですね!

高橋 創太
 (天かはし・そうた)



フクナガ・チャレンジ25 活動レポート

「チームマイナス6%」改め「チャレンジ25」の
エコ活動をご紹介します。

チャレンジ
25



地道に続けています、 地域清掃活動「クリーン作戦」

以前、会社付近と近所の大きな道路沿い近辺を掃除した時のこと。大きな道路というのは、交通量が多いだけでなく、ゴミも本当に多いんです！スタッフは夢中でゴミを探索(写真1・2)。もちろん、集めたゴミは土に還るものと還らないもの、そしてリサイクルできるものに分別していますが、スタッフはなぜかこの“分別”に一番力が入っています(写真3)。先日寒いなかクリーン作戦を実行し、清掃終了後の恒例のお楽しみ・ホットコーヒーで心と体をほっこり温めました(写真4)。2007年より始めた「クリーン作戦」も今年で5年目を迎えます。今後もゴミのない地域を目指して、作戦を実行していきます！

ゴーヤ成長日記

CO2削減を目指した
ゴーヤの成長をお伝えします！



夏が終われば収穫も終わり、
のはずが…!?

前回号では、ゴーヤ不作の模様をお伝えいたしましたが、な、な、なんと！9月下旬の暑さが和らいできた頃、急に葉が生い茂り、花が満開に咲き、そして大きなゴーヤがたわわに実ったのです!! 念願のゴーヤチャップルも出来ました♪もうオフシーズンのはずなのに何故かは疑問が残りますが、来年はこの結果を踏まえて夏にしっかり育つようにしようと思います。

プルタブ&アルミ缶を集める活動写真



プルタブ&アルミ缶を集めて小学校に車イスを贈った団体「このはな輪(リング)ちゃん」



贈られる車イスのタイプは4種類あり(写真は標準タイプ)、集めるポイント数が異なる。

詳細情報はコチラ

プルタブ&アルミ缶を集める活動の詳細は
下記のホームページをご覧ください。

運営団体：一般社団法人

『みんなであつめる福祉にひろがる会』

<http://www.pull-tab.or.jp/>

事務局より… 活動を運営するスタッフに意見を聞きました。

“限りある資源”と“自分の周りの人々(家族・友人など)”を大切に「考え方」と、「真心」をこの活動を通して実感しながら学んでいくボランティア活動です。ぜひ皆さんにご参加頂きたいと思えます。



福永 政弘
(ふくなが まさひろ)

車イスを送る側と、受けとる側、両方の方と触れ合うことができ、今まで知らなかったことをたくさん勉強させてもらいました。今後も活動に携わる業務に取り組んでいきたいです。



古川 圭一
(ふるかわ けいいち)

皆様から頂いたプルタブ&アルミ缶という善意を、責任を持って車イスに換えさせていただいております。どんどん送付&持ち込んで、もりもり車イスに換えてください！送付の際には登録番号をお忘れなく！



杜氏 康浩
(たけむら けんこう)

キッズも楽しめるエコ情報をお届けします

教えて！ FECO KIDS



「生物多様性」を感じる
スタンブラリー開催中

「生物多様性」とは、様々な生物種の多さと、それにより成り立っている生態系の豊かさやバランスが保たれている状態のこと。現在、環境破壊や温暖化で絶滅に瀕する生物が増えています。このような危機を身近に感じにくくなっている今、自然が広がる国立公園などに足を運んでみませんか？「全国自然いきものめぐりスタンブラリー」が2013年3月まで開催中。家にも自然と触れ合って生物多様性を身近に感じてみましょう。



全国のスタンブラリーの場所が掲載されています。
「全国自然いきものめぐりスタンブラリー」
<http://www.ikimono-meguri.go.jp/>

ラリーマップに大阪がなかったのですが、遠出して自然に触れてみようと思いました。



原田 奈美
(はらだ なみ)



お客様ECOじまん 「排ガス浄化装置でクリーン運転をサポート」

今回のお客様

有限会社 日生自動車工業

住所: 神奈川県横浜市都筑区佐江戸町 864
TEL. 045-933-9091 URL. <http://www.nissei.info/>

Q 御社の仕事内容は？

整備工場としては広大な敷地面積を所有し、一般整備、民間車検のみならず、板金、塗装、架装から車体製作、新車・中古車販売、そして部品関係と「車のことならどんなことでも」をモットーに幅広く対応致します。

Q フクナガの製品を導入された理由は？

車両関係の業務で法人のお客様より、「フォークリフトのタイヤはないの？」とよく聞かれていました。ご縁あってフクナガさんと知り合った時にタイヤを販売していることを知り、お客様におすすめました。コストや性能面でみなさまに喜んで頂いております。



↑有限会社日生自動車工業の入り口看板

有限会社 日生自動車工業のココがECOじまん



↑トラックユーザーの顧客を多く抱えるため、排ガス浄化対策は万全

環境問題にいち早く重点をおき、1000台以上のトラックに黒煙をはじめとする排ガスの浄化装置をつけるなど、対策を実施しています。近い将来、バッテリーの再生にも取り組んでいこうと計画しています。当社は自動車産業を通じ、車両の安全、保守と大気環境の公害改善を心がけ、快適な社会に寄与します。



フクナガなんでもNEWS

フクナガ社内のさまざまな話題をお届けします。

今年度の特集「もっと！フクナガのECO発掘！」では、3事業部の事業とエコの部分を取り上げてお伝えしてきました。新たな年を迎えるにあたり、各事業部が「事業面」と「エコ面」について今年の抱負を宣言します！

A. 事業面の抱負 B. エコ面の抱負

【リ・メタル事業部】



リ・メタル事業部・乾

- A. 今年は「マンネリの破壊」の年にしたいと思います。日々行われている業務や営業、引取り形態などに疑問を持って新たな事にチャレンジし、マンネリしている事業形態を大きく変えたいと思います。
- B. 現状の金属資源リサイクルだけに囚われず、まだ使えるものはリユース品として活用、リペアによる再商品化、スクラップからのアート作品材料など、より良いリサイクルに挑戦していきたいです。

【ソフトバッグ事業部】



ソフトバック事業部・野村

- A. 今年のテーマはズバリ「もっと国際化」です。仕入れから販売までを、今まで以上にグローバルに考えていきたいと思っています。もちろん目的は皆様により良い提案をすること。お楽しみに！
- B. 目指すのは「しかもエコ」。替にあふれる強引なエコ商品（ちょっと無理があるモノ）ではなく、みなさんのお役に立ち、しかもエコな商品づくりを目指します。大阪発のオモシロ提案、していきますよ。

【キクロス事業部】



キクロス事業部・恒吉

- A. 今年は新ブランドの投入を考えています。高品質な商品及び高付加価値サービスを展開し、お客様にもっとキクロスのノーバンクタイヤをご活用いただけるようにします。
- B. 生産不良や出荷不良を減らし、環境影響に関わるロス率を20%減らすことです。良い商品やサービスを生み出すだけでは足りません。環境への負荷を減らしたものでなければいけないと思います。



エコ川柳 テーマ「〇〇の秋ならこのエコ」

エコを詠み、エコで笑う「エコ川柳」。さて、今号の特選は？

佳作
まだ着れる
つぎあて母の
あたたかさ

林幹夫さん(大阪府大阪市)

佳作
おそろいの
水筒も、
ハイキング

西山小久夜さん(静岡県浜松市)

特選
地産地消
地元の野菜で
ほっと(HOT)鍋

高村絵美さん(富山県富山市)

鍋の美味しい季節、その野菜が地元産であればよりエコですね。鍋を食べてほっとする気持ちと温かい(HOT)を掛けた「ダブルほっと」に感服です。

次号のテーマは「あなたのエコライフ」です。

毎号のテーマにあわせて、あなたの「エコ川柳」をご応募下さい。ご応募頂いた方にもらえるクオカード500円分をプレゼント!

- 宛先…フェコニュース編集部「エコ川柳」係
- 応募要綱…毎号のテーマに合わせた「エコ川柳」を、本誌に同封しているアンケートの記入欄に記入し、FAXまたはメールでお送り下さい。

応募先FAX **06-6969-3633** 〆切 **2011年2月4日(金)**

編集後記

年間でゴーヤの成長日記をお伝えしましたが、それまで全く植物を育てたことのない私も、我が家でも何か育ててみようと思念発起。早速、観葉植物のガジュマルを購入しました。毎日水遣りしていると、秋になってから若葉が出始め、「植物って応えてくれるんだ」と愛着がわいてきました。今や子育てのように成長をチェックしています。これから植物とのコミュニケーションを増やしていきたいな、と思います。



長谷川 真紀 (はせがわ・まき)



発行元:株式会社フクナガエンジニアリング
〒536-0014
大阪府大阪市城東区鴨野西5-13-30
TEL.06-6969-3647(代) FAX.06-6969-3633
E-mail feconews@ecosoft.co.jp
<http://www.ecosoft.co.jp>



- 本誌はクリオネマークゴールドプラス基準に適合した地球にやさしい印刷方法で作成されています。
- 地球環境保全のため、石油系溶剤を含まないVOC成分ゼロの大豆インキを使用しました。